

## 【別紙3 システム構成図】

### 2. 機能要件を満たすための、システム構成の選択理由

---

各機器は以下の機能要件を満たす構成とする

- DBサーバ/ディスクアレイ
  - ・ レセプト情報及び健診・保健指導情報などのDB管理

※統計・分析の詳細規模が明確化された時点で追加される可能性のある、分析・統計サーバの構成に柔軟に対応できるよう、サーバを分散し、追加が可能となる構成とすること。

- 運用管理サーバ/LTO・DVDライブラリ
  - ・ 稼動状況管理（稼動の監視、ネットワーク状況監視、閾値管理、サービス稼動監視、ジョブ管理、サービス管理）
  - ・ データ入出力管理（DVD/LTO媒体の入出力、バックアップ、リストア）
  - ・ ログ管理（ログチェック）
- セキュリティ管理サーバ/ルータ/ファイアウォール
  - ・ セキュリティ管理（修正ソフトウェア（セキュリティパッチ）管理）  
（インターネット接続による自動アップデート管理を行う）
  - ・ ウイルス管理（エンジン・パターンの配布/ウイルスの検知）
  - ・ アクセス管理（ユーザ認証/不正アクセス管理）
- 運用端末  
DBサーバに管理されたレセプト情報及び健診・保健指導情報の画面運用
- スイッチングハブ  
各機器間のネットワーク接続

### 3. 信頼性等要件を満たすための、システム構成の選択理由

---

各機器は以下の信頼性要件を満たす構成とする

- DBサーバ/ディスクアレイ
  - ・拡張性・事業継続性、段階的な追加が可能となる構成とする
  - ・初期設備として、2台(+1台:障害時用)で、分散して処理
  - ・ディスクアレイは初期で1年分のデータを格納
  
- 運用管理サーバ/ LTO・DVDライブラリ
  - ・拡張性・事業継続性を考慮して、サーバは2台用意し、ストレージはライブラリ装置を選択  
(片系故障時は、運用による対応にてもう片方のサーバで運用基盤処理が可能となるようにする)
  - ・名寄せ後のデータ/各種ログなどをストレージにてバックアップ(システムイメージは、ディスクアレイで取得)
  
- セキュリティ管理サーバ/ルータ/ファイアウォール
  - ・コスト効率を考慮して、冗長構成は行わない
  - ・アクセスログの分析を考慮してログバックアップを行う
  
- 運用端末
  - 事業継続性を考慮して、2台用意し分散して処理
  
- スイッチングハブ
  - ・L3スイッチハブについては、事業継続性を考慮して2台構成とする
  - ・L2スイッチハブについては端末台数増加によるネットワークコリジョンを考慮して、リピータハブではなくレイヤ2スイッチを用意する